

願いこもった署名 9月9日県当局に14,740筆を提出

9月15日報告集会で市民に報告

昨年6月、「私たちのまちから病院がなくなる」という衝撃が、上越地域全体を駆け巡って以来、「地域の医療を守ってほしい」という願いを込めて取り組まれてきた「地域医療を守る署名」は、このほど14,740筆が集約され、9月9日県庁において県当局に提出されました。

運動を進めてきた「上越地域の医療を守る会」(石田秀男代表)は、対応した新潟県福祉

15日、市民プラザで市民向けの署名提出報告集会が行われました。

県への提出の経緯を報告した石田代表は、「対応した県幹部は冒頭で『労災病院の機能の受入体制も未だきちんとは定まっていないし、予算の裏付けも明確になっていない』というようなことを語っていた。このことは、運動次第ではまだまだ労災病院を残せる可能性があることを示唆している。労災病院の傳田院長も『移行にはまだまだ時間がかかる。それまでは当院で責任をもって治療に当たっていく』と語っている」と述べ、今後の展望を示しました。

日本共産党上越市議員団ニューズ
No.845 2024年9月22日
連 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
絡 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>

保健部地域医療政策課の浅見裕之課長に署名を手渡し、「多くの市民・県民が、労災病院を残してほしい、地域の医療を守ってほしいと願っている。ぜひ医師を増やして医療を守ってほしい」と訴えました。

それに対して浅見課長は、「まだ将来の具体像が見えず、みなさんも不安を感じていると思う。安心できる医療体制を再構築し早く示したい」と語りました。



来賓として参加した上野公悦議員は、これまでの医療問題の経過を説明し、市や県の対応が市民の立場になっていないことを指摘しました。

会場から発言した直江津のKさんは、「署名に本気で取り組んできたが、まだまだ中身を知らない人が多い」と述べ、今後の運動の広がり大きな期待を寄せました。

集会では最後に、引き続き署名に取り組んでいくことを確認しました。

労災病院の機能移転に約5億5千万円 そのうち約2億3千万円の施設改修費は センター病院新築でなんと無駄に!?



新潟労災病院

今議会に提案されている病院事業特別会計の補正予算では、来年度末に閉院するとされている労災病院の機能をうち、歯科口腔外科をセンター病院に移行するための費用として、約5億5千万円の支出が計画されていることが明らかになりました。これは、労災病院の閉院を前提にしており、市民にとって大



上越地域医療センター病院

きな問題です。さらに、他にも大きな問題が明らかになりました。受け入れのために約2億3千万円もかけて改修する施設は、その後のセンター病院の新築の際にすべて除却するといのです。せっかく改修してもたった数年ですべて壊れてしまふという、膨大な無駄遣いです。

2 上越地域医療センター病院への機能移行に要する全体事業費及び財源 (単位:千円)

項目	事業予算	主な実施内容
施設改修費等	228,973	これがほぼ無駄に ・福祉交流プラザ改修工事 ・カルテ庫改修工事 ・歯科口腔外科改修工事実施設計業務委託 ・歯科口腔外科改修工事 ・駐車場増設工事
令和6年度9月補正	42,122	
令和7年度(債務負担分)	165,286	
令和7年度(当初分)	21,565	
医療器具整備費等	327,169	—
令和6年度9月補正	5,000	・歯科口腔外科導入機器選定業務委託
令和7年度(債務負担分)	322,169	・医療機器購入
合計	556,142	—
令和6年度9月補正	47,122	—
令和7年度(債務負担分)	487,455	—
令和7年度(当初分)	21,565	—